平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名　日鍛バルブ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6493　URL　http://www.niv.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋　久雄
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 金原　利道　TEL 0463-82-1311

四半期報告書提出予定日　平成23年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	8,062	△3.2	351	△40.6	384	△32.2	△11	―
23年3月期第1四半期	8,329	40.3	591	―	567	―	124	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　524百万円　(737.7%)　23年3月期第1四半期　62百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△0.41	―
23年3月期第1四半期	4.30	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	38,795	27,677	61.1
23年3月期	38,980	27,428	60.8

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　23,701百万円　23年3月期　23,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	6.00	―	6.00	12.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		6.00	―	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,700	0.4	760	△43.2	870	△29.6	190	△53.9	6.58
通期	34,200	5.5	2,000	△9.2	2,200	0.4	710	25.5	24.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	28,978,860 株	23年3月期	28,978,860 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	90,565 株	23年3月期	90,565 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	28,888,295 株	23年3月期1Q	28,888,489 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・ P. 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ・・・ P. 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ・・・ P. 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ・・・ P. 3

２．サマリー情報（その他）に関する事項 ・・・ P. 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4

３．四半期連結財務諸表 ・・ P. 5
（１）四半期連結貸借対照表 ・・ P. 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 7
（３）継続企業の前提に関する注記 ・・ P. 9
（４）追加情報 ・・・ P. 9
（５）セグメント情報等 ・・・ P. 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１） 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にありましたが、生産や輸出は上向きの動きがみられました。先行きについても、電力供給の制約や原油高の影響など不透明な要素は抱えているものの、景気は持ち直していくことが見込まれます。世界経済につきましては、中国・インドにおける内需を中心とした景気拡大や欧米地域における景気回復など、総じて回復基調にて推移しました。

また、当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内では震災の影響により大幅な減産を余儀なくされましたが、サプライチェーンの回復にともない、先行きについては、持ち直しが見込まれます。海外ではアジア地域の内需拡大などを背景に需要増の傾向にありました。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針の達成に鋭意取り組むとともに、生産体制の合理化、海外事業展開の推進、新技術・新商品の開発など、諸施策を積極的に展開してまいりました。また、震災に起因する生産への影響を最小限にとどめるための施策を迅速かつ的確に講じてまいりました。

当第１四半期連結累計期間の業績としましては、売上高につきましては、海外事業は好調であったものの、震災影響による国内の減産や為替の影響により、前年同期に比べ減収となる、80 億 62 百万円（前年同期比 3.2%減）となりました。損益面につきましては、海外事業の好調が震災等の影響を補うにいたらず、営業利益３億 51 百万円（前年同期比 40.6%減）、経常利益３億 84 百万円（前年同期比 32.2%減）、四半期純損失 11 百万円（前年同期は四半期純利益１億 24 百万円）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は次のとおりであります。

＜小型エンジンバルブ＞

乗用車用エンジンバルブにつきましては、国内生産では、震災影響により四輪車用エンジンバルブが大幅に減収、回復傾向にあった二輪車用エンジンバルブについても減収となりました。海外生産は、為替の影響はあったものの、アジア地域における内需拡大など海外需要の増加を背景に概ね堅調に推移しました。

汎用エンジンバルブにつきましては、北米向け汎用製品の好調などにより増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、54 億 93 百万円（前年同期比 2.0%減）、セグメント利益（営業利益）は、２億 27 百万円（前年同期比 49.8%減）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

＜舶用部品＞

補給部品等の舶用関連製品につきましては、国内外における海運・造船市場の需要が回復傾向にあることから、大型機種や補給部品が増加し、大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、７億 98 百万円（前年同期比 28.2%増）、セグメント利益（営業利益）は、89 百万円（前年同期比 356.0%増）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

＜可変動弁・歯車＞

可変動弁につきましては、モデルチェンジ効果や北米向け製品の好調などにより増加傾向にあったものの、一部需要の回復が想定より遅れたことにより減収となりました。

精密鍛造歯車につきましては、一部需要の回復が想定より遅れたこと、海外向け製品の減

少などにより、自動車用製品・産業機械用製品いずれも減収となりました。
この結果、当セグメントの売上高は、12 億 78 百万円（前年同期比 13.8%減)、セグメント損失（営業損失）は、30 百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）22 百万円）となりました。

＜その他＞
バルブリフターにつきましては、海外向け製品の需要が回復傾向にありましたが、震災の影響により大幅な減収となりました。
工作機械につきましては、海外事業の好調にともなう海外生産拠点への販売増加により増収となりました。
ロイヤルティーにつきましては、前期まで営業外収益に計上しておりましたが、海外取引の重要性の増大にともない、当第１四半期より売上に計上しております。
この結果、当セグメントの売上高は、７億 91 百万円（前年同期比 13.3%減)、セグメント利益（営業利益）は、16 百万円（前年同期比 83.5%減）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、387 億 95 百万円となり、前連結会計年度末と比較して１億 84 百万円の減少となりました。
資産の部の流動資産は、160 億 75 百万円となり、前連結会計年度末と比較して１億 47 百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が５億 97 百万円減少したことなどによるものであります。
固定資産は、227 億 20 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 36 百万円の減少となりました。この主な要因はのれんが 64 百万円減少したことなどによるものであります。
負債の部の流動負債は、74 億 79 百万円となり、前連結会計年度末と比較して１億 24 百万円の減少となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が３億４百万円減少したことなどによるものであります。
固定負債は、36 億 38 百万円となり、前連結会計年度末と比較して３億８百万円の減少となりました。この主な要因は退職給付引当金が５億 18 百万円減少したことなどによるものであります。
純資産の部では、276 億 77 百万円となり、前連結会計年度末と比較して２億 48 百万円の増加となりました。この主な要因は為替換算調整勘定が２億 25 百万円増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成 24 年３月期の業績予想は、当第１四半期の業績が概ね計画通りに進捗しており、業績環境についても想定範囲内であることから、平成 23 年６月 21 日に発表致しました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○法人税等の計算
当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,662,897	3,065,267
受取手形及び売掛金	5,445,858	5,860,509
商品及び製品	1,577,491	1,701,572
仕掛品	1,500,725	1,681,267
原材料及び貯蔵品	1,789,371	1,746,876
繰延税金資産	337,167	346,504
その他	1,911,641	1,675,607
貸倒引当金	△2,492	△2,527
流動資産合計	16,222,659	16,075,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,474,779	5,431,293
機械装置及び運搬具（純額）	5,140,620	5,310,944
土地	1,406,153	1,408,543
建設仮勘定	1,590,168	1,514,418
その他（純額）	303,918	284,962
有形固定資産合計	13,915,639	13,950,161
無形固定資産		
のれん	978,322	913,338
その他	249,243	252,561
無形固定資産合計	1,227,566	1,165,900
投資その他の資産		
投資有価証券	7,124,091	7,114,527
出資金	940	940
長期貸付金	115,386	117,469
繰延税金資産	179,305	190,482
その他	194,642	181,238
投資その他の資産合計	7,614,366	7,604,656
固定資産合計	22,757,572	22,720,719
資産合計	38,980,231	38,795,797

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,870,088	3,565,977
短期借入金	657,040	1,151,100
未払法人税等	149,825	185,024
繰延税金負債	382,155	416,042
賞与引当金	348,324	100,760
役員賞与引当金	38,300	－
その他	2,158,705	2,060,763
流動負債合計	7,604,439	7,479,667
固定負債		
長期未払金	21,100	295,176
長期借入金	195,000	162,500
繰延税金負債	736,026	706,876
退職給付引当金	2,909,235	2,390,484
その他	85,539	83,404
固定負債合計	3,946,901	3,638,442
負債合計	11,551,341	11,118,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,506,955	4,506,955
利益剰余金	13,807,689	13,622,531
自己株式	△45,256	△45,256
株主資本合計	22,799,931	22,614,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,563,890	2,523,442
為替換算調整勘定	△1,661,451	△1,436,268
その他の包括利益累計額合計	902,438	1,087,173
少数株主持分	3,726,520	3,975,740
純資産合計	27,428,890	27,677,687
負債純資産合計	38,980,231	38,795,797

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
売上高	8,329,615	8,062,987
売上原価	6,991,770	6,980,949
売上総利益	1,337,844	1,082,038
販売費及び一般管理費	746,033	730,357
営業利益	591,811	351,681
営業外収益		
受取利息	4,644	5,447
受取配当金	34,552	43,245
持分法による投資利益	10,255	18,878
雑収入	11,417	17,696
営業外収益合計	60,871	85,267
営業外費用		
支払利息	10,101	4,773
為替差損	68,364	42,940
雑損失	7,005	4,920
営業外費用合計	85,470	52,635
経常利益	567,212	384,313
特別利益		
固定資産売却益	52,611	513
その他	700	－
特別利益合計	53,311	513
特別損失		
固定資産売却損	－	3,818
固定資産除却損	4,107	55,779
本社工場再整備費	2,538	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43,979	－
特別損失合計	50,624	59,597
税金等調整前四半期純利益	569,898	325,230
法人税等	140,313	108,971
少数株主損益調整前四半期純利益	429,584	216,258
少数株主利益	305,391	228,086
四半期純利益又は四半期純損失（△）	124,193	△11,828

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	429,584	216,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△697,156	△40,554
為替換算調整勘定	298,571	310,167
持分法適用会社に対する持分相当額	31,604	38,595
その他の包括利益合計	△366,980	308,208
四半期包括利益	62,604	524,466
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△353,665	172,907
少数株主に係る四半期包括利益	416,269	351,559

（３）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成 23 年４月１日　至　平成 23 年６月 30 日）
該当事項はありません。

（４）追加情報

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第 24 号　平成 21 年 12 月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 24 号　平成 21 年 12 月４日）を適用しております。

（５）セグメント情報等
【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成 22 年４月１日　至　平成 22 年６月 30 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	小型エンジンバルブ	舶用部品	可変動弁・歯　車	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	5,605,765	623,220	1,482,454	7,711,440	618,174	8,329,615	－	8,329,615
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	294,866	294,866	△294,866	－
計	5,605,765	623,220	1,482,454	7,711,440	913,041	8,624,481	△294,866	8,329,615
セグメント利益（営業利益）	453,775	19,670	22,612	496,058	101,679	597,737	△5,926	591,811

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティー等を含んでおります。
2. セグメント利益（営業利益)の調整額△5,926 千円は、セグメント間取引消去 21,912 千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△27,838 千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．ロイヤルティーの表示方法につき、前期まで営業外収益に計上しておりましたが、当第１四半期より売上に計上しております。これに伴い遡及的に「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第 24 号　平成 21 年 12 月４日）を適用しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成 23 年４月１日　至　平成 23 年６月 30 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	小型エンジンバルブ	舶用部品	可変動弁・歯　車	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	5,480,415	798,250	1,278,278	7,556,944	506,043	8,062,987	－	8,062,987
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	12,940	523	－	13,464	285,509	298,974	△298,974	－
計	5,493,356	798,774	1,278,278	7,570,409	791,552	8,361,961	△298,974	8,062,987
セグメント利益又は損失(△)	227,855	89,693	△30,221	287,327	16,752	304,079	47,601	351,681

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティー等を含んでおります。

２．セグメント利益（営業利益)の調整額 47,601 千円は、セグメント間取引消去 80,673 千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△33,072 千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成 23 年４月１日　至　平成 23 年６月 30 日）

該当事項はありません。